別表１－１

「歯周治療の基本技術」プログラム

1単位:60分（eラーニングを除く）

研　修　項　目	内　容	単位	演習
Ⅰ　歯周治療の基礎	A　歯周病とは（原因、病態、分類等）	3	
	B　歯周組織のしくみと役割（組織学、解剖学、細菌学等）		
	C　歯周治療の基本的な流れと進め方		
	D　医療面接と主観的情報の把握（主訴、現病歴、既往歴等）		
	E　全身疾患、生活習慣病に関する知識		
	F　歯周医学（ペリオドンタルメディシン）		
	G　eラーニング　項目Ⅰ受講:3単位		
Ⅱ　検査と評価	A　歯周組織検査（視診、プロービング等）	5	○
	B　細菌検査		
	C　口腔内写真の撮影と活用法		○
	D　エックス線写真の読影・CTの知識		○
	E　eラーニング　項目Ⅱ受講:3単位		
Ⅲ　口腔衛生指導と生活習慣指導	A　セルフケアについて	4	
	B　行動変容に必要な知識と技術（カウンセリング等）		○
	C　禁煙支援		○
	D　食生活の改善指導		○
	E　咬合や力に関する知識とアプローチ（悪習癖の改善等）		
	F　eラーニング　項目Ⅲ受講:3単位		
Ⅳ　スケーリング・ルートプレーニング（SRP）	A　手用スケーラーのインスツルメンテーション	8	○
	B　超音波スケーラー(エアースケーラーを含む)のインスツルメンテーション		○
	C　シャープニング		○
	D　プロフェッショナルケア（歯肉縁上・縁下のプラークコントロール、PTC・PMTC）		○
	E　eラーニング　項目Ⅳ受講:2単位		
Ⅴ　歯周治療の補助に必要な知識と技術	A　歯周基本治療について ・目的、治療の実際、咬合治療、抗菌療法等	5	
	B　歯周外科治療について ・目的、治療の実際、根分岐部病変への対応、歯周組織再生療法等		
	C　口腔機能回復治療について ・咬合治療、歯周補綴、歯周－矯正治療等 ・インプラント治療		
	D　高齢者、有病者、在宅者への対応		
	E　eラーニング　項目Ⅴ受講:2単位		
	F　eラーニング　項目Ⅶ受講:1単位		
Ⅵ　SPT・メインテナンスに必要な知識と技術	A　SPT・メインテナンスへの移行について	3	
	B　SPT・メインテナンスの実際		
	C　知覚過敏・根面カリエスの予防		
	D　症例検討・報告		○
	E　eラーニング　項目Ⅵ受講:1単位		

※ eラーニングの内容（コンテンツ）は、別紙「eラーニング研修の実施要領」を参照のこと

別表１－２

「摂食嚥下機能療法の基本技術」プログラム

1単位:60分（eラーニングを除く）

研 修 項 目	内 容	単位	演習
Ⅰ リハビリテーション総論	A リハビリテーション医学・医療とは	3	
	B リハビリテーションにおける介入方法（治療的、代償的、生活改善的、心理的）		
	C 摂食嚥下リハビリテーションに関連した社会資源		
	D 摂食嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチと関連医療法規		
	E 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割		
Ⅱ 摂食嚥下のメカニズム	A 摂食嚥下関連器官の解剖 (1) 嚥下の中枢機構 (2) 口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、食道の構造 (3) 摂食嚥下に関与する筋と支配神経	2	
	B 摂食嚥下関連器官の生理 (1) 摂食嚥下のプロセス (2) 咬合支持と咀嚼		
Ⅲ 摂食嚥下障害の病態論	A 小児 (1) 摂食嚥下機能の発達とその障害	1	
	B 摂食嚥下障害 (1) 加齢(フレイル、サルコペニアを含む)、認知症と摂食嚥下機能 (2) 脳血管障害、高次脳機能障害、神経・筋疾患等 (3) 頭頸部がん等治療過程 (4) 摂食嚥下障害を引き起こす薬剤	3	
Ⅳ 摂食嚥下機能の評価と検査	A 検査法 (1) 嚥下造影（VF）と評価 (2) 嚥下内視鏡検査（VE）と評価	7	
	B フィジカルアセスメント (1) 主訴・病歴・問診・全身症状（認知、発語含む）		
	C 摂食時の外部観察評価		○
	D 摂食嚥下機能スクリーニング法 (1) 反復唾液嚥下テスト(RSST)、改訂水飲みテスト(MWT)、フードテスト(FT)、頸部聴診法、ほか		○
	E 嚥下器官運動検査		
	(1) 呼吸機能、頸部可動域、顎運動、舌運動、口唇・頬運動		○
	(2) 発声持続、構音、軟口蓋		○
	(3) 咽頭反射、咳反射		○
	F 摂食嚥下障害の重症度分類		
	G 摂食嚥下レベルの評価 (1) 摂食嚥下能力のグレード、摂食状況のレベル		
	H 問題解決過程		○

別表1－2

研 修 項 目	内　容	単位	演習
V 摂食嚥下障害に対する訓練法	A 基礎訓練（間接訓練）	3	
	(1) 間接訓練の概念		
	(2) 開始の前提条件と進め方 および留意点		
	(3) 間接訓練技法と効果		
	①呼吸訓練		○
	②口腔器官訓練(頬、口唇、舌、唾液腺刺激、バンゲード等)		○
	③鼻咽腔閉鎖、咽頭収縮、喉頭閉鎖訓練		○
	④発声、構音訓練		○
	⑤準備期・口腔期に対する間接訓練		○
	⑥咽頭期に対する間接訓練		○
	B 摂食訓練（直接訓練）	3	
	(1) 直接訓練の概念・開始基準・中止基準		
	(2) 段階的摂食訓練の考え方		
	(3) 直接訓練時の環境設定		
	(4) 体位・姿勢の調整		○
	(5) 嚥下方法の選択（一口量、ペーシング、うなずき嚥下、空嚥下等）		○
	(6) 食物形態の選定と調整		○
	(7) 食事介助方法		○
	(8) 訓練中のフィジカル・イグザミネーションとリスク管理		
VI 摂食嚥下障害とリスク管理	A リスクマネジメントとは	3	
	(1) 嚥下障害におけるリスク		
	(2) 低栄養と脱水		
	(3) 誤嚥・窒息等の対応（ハイムリッヒ法、背部叩打法等）		○
	B 呼吸アセスメントと呼吸管理		
	(1) 呼吸アセスメントの方法（呼吸音、SpO2など）		○
	(2) 呼吸理学療法		○
	(3) 喀痰吸引の理解と実際		○
	(4) 気管切開(カニューレを含む)の理解と装着患者のリスク管理		○
	(5) 人工呼吸器の理解と装着患者のリスク管理		
	C 非経口摂取の理解とリスク管理（経静脈栄養、経鼻経管栄養、PEG）		
	D 場面別リスクマネジメント		
	(1) 口腔清掃時		
	(2) 直接訓練時および食事場面		

別表１－２

研　修　項　目	内　　容	単位	演習
Ⅶ　摂食嚥下障害と栄養	A　栄養管理の重要性	2	
	B　栄養アセスメントの方法（観察、身体計測、検査など）		
	C　リハビリテーション栄養		
	D　経管栄養法 (1) 適応、種類と特徴、合併症		
	E　嚥下調整食分類の種類と調理方法		○
	F　各種嚥下調整食の試食		○
	G　栄養サポートチーム（NST）の概念		
Ⅷ　摂食嚥下障害者の口腔機能管理	A　口腔機能管理の基本技術	3	○
	B　口腔機能管理の実践		
	(1) 居宅における口腔機能管理		○
	(2) 施設における口腔機能管理		○
	(3) 病院における口腔機能管理		○
	(4) 多職種連携によるチームアプローチ		
Ⅸ　eラーニング	A　項目Ⅰ　受講：1単位	1	

※ eラーニングの内容（コンテンツ）は、別紙「eラーニング研修の実施要領」を参照のこと

別表１－３

「歯科診療所等における医療安全管理対策」プログラム

1単位:60分（eラーニングを除く）

研修項目	研修内容	単位
Ⅰ　医療事故とは	A　医療事故の考え方	2
	B　用語の定義 （インシデント、アクシデント、ヒヤリ・ハット、医療過誤、医療事故、ニアミス）	
	C　医療事故の原因と現状	
	D　医療事故処理	
Ⅱ　医療安全対策とは	A　医療安全管理に対する法律制度について	4
	B　システムアプローチ （医療安全管理システム・医療安全の監視体制）	
	C　医療事故防止マニュアルおよび指針	
	D　事故発生時の対応と回避	
	E　インシデントの報告制度（ 院内・院外報告ルート）	
	F　事例と対策	
	G　歯科診療所(小規模)の特徴	
	H　歯科診療におけるリスクマネジメント	
	I　救急処置、蘇生	
Ⅲ　歯科衛生士業務における 医療事故防止	A　チェアーサイド業務	4
	B　歯科診療の補助	
	C　歯科予防処置	
	D　保健指導	
	E　診療室の業務管理 （事務業務・機器、機材の管理・薬剤管理・材料等 の管理・伝達の誤認・ 環境整備等）	
	F　歯科訪問診療における留意点 ・呼吸管理の考え方 ・喀痰吸引の考え方	
	G　災害時(火災・地震)の対応	
Ⅳ　インフォームドコンセント・接遇	A　インフォームドコンセントとは	2
	B　個人情報保護と情報の漏洩防止及び情報の開示	
	C　医療面接・接遇の基本	
Ⅴ　院内感染対策（感染予防対策）	A　歯科診療所における院内感染とは	4
	B　標準予防策（スタンダードプリコーション）	
	C　滅菌・消毒・洗浄の適切な選択	
	D　院内感染予防の実際 （手洗い・グローブ・マスク・ゴーグルの使用等）	
	E　歯科医療従事者の曝露事故,感染事故（針刺し事故、肝炎ウイルス感染等）管理	
	F　感染経路別予防策とゾーニングの概念	
	G　感染性廃棄物の処理	
Ⅵ　感染症予防歯科衛生士講習会	A　集合型研修　240分以上:4単位	4
	B　web研修（webを活用した集合型研修を含む） 180分:3単位	
Ⅶ　eラーニング	A　項目Ⅰ　受講:1単位	2
	B　項目Ⅰ＋項目Ⅱ　　受講:2単位	

※ eラーニングの内容（コンテンツ）は、別紙「eラーニング研修の実施要領」を参照のこと

別表１－４

「周術期等の口腔機能管理」プログラム

1単位：60分（eラーニングを除く）

研修項目	研修内容	単位数
Ⅰ　がん治療とは	A　がん治療とそれによる全身的変化	3
	B　がん集学的治療とは	
	C　がんの診断と評価	
	D　がんの病期診断	
	E　患者の病態評価	
	F　がん対策基本法とがん対策推進基本計画について	
	G　がん患者の歯科支持療法の考え方	
Ⅱ　周術期の患者の歯科治療・口腔機能管理	A　周術期における歯科介入の意義 ・周術期における口腔機能管理の必要性 ・呼吸器合併症（誤嚥性肺炎）のリスク ・挿管時のトラブル	3
	B　周術期におけるコミュニケーション技術	
	C　術前の口腔機能管理の実際と留意点	
	D　術後患者の歯科治療と口腔機能管理	
Ⅲ　薬物療法（化学療法）患者の歯科治療・口腔機能管理	A　薬物療法を受ける患者の特徴 ・口腔粘膜炎のメカニズム ・口腔粘膜炎のリスク ・口腔粘膜炎の病態と対処 ・口腔粘膜炎以外の病態と対処 （味覚異常、歯性感染症、カンジダ口内炎、ヘルペス口内炎、口腔乾燥、口腔内出血等） ・抗がん剤治療による白血球の変化	3
	B　歯科治療と口腔機能管理	
	C　造血幹細胞移植患者の口腔合併症と口腔機能管理	
Ⅳ　放射線療法患者の歯科治療・口腔機能管理	A　頭頸部の放射線・化学放射線療法の特徴 ・頭頸部がん放射線療法による口腔への影響 ・放射線治療による口腔合併症と対処	2
	B　歯科治療と口腔機能管理	
Ⅴ　緩和ケア・終末期患者の歯科治療・口腔機能管理	A　緩和ケアとは	3
	B　終末期患者の特徴	
	C　口腔内の特徴	
	D　歯科治療と口腔機能管理	

別表１－４

研修項目	研修内容	単位数
Ⅵ BMA(Bone Modifying Agents)使用に関連する顎骨壊死と歯科治療・口腔機能管理	A がん骨転移のメカニズムとBMAの薬理作用	2
	B BMAによる顎骨壊死の臨床病態と症例	
	C 顎骨壊死のリスクファクター	
	D 歯科治療と口腔機能管理	
Ⅶ 小児がん治療患者の歯科治療・口腔機能管理	A 小児がん治療に伴う歯科的問題	1
	B 歯科治療と口腔機能管理	
Ⅷ チーム医療 連携	A 医科歯科連携の概要と連携の流れ ・周術期等の患者に対する医療チームについて ・周術期等の治療に携わる医療専門職の役割	3
	B 連携歯科医院で行う口腔機能管理の実際	
	C 病院内の歯科で行う口腔機能管理の実際	
	D 高額医療助成制度について	
	E 地域包括ケアシステムへの対応	
Ⅸ eラーニング	A 項目Ⅰ 受講:1単位	1

※ eラーニングの内容(コンテンツ)は、別紙「eラーニング研修の実施要領」を参照のこと

別表１－５

「在宅歯科医療の基礎」プログラム

1単位:60分（eラーニングを除く）

研　修　項　目	内　容	単位	演習
Ⅰ　在宅歯科医療概論	A　地域包括ケアシステムについて	2	
	B　在宅歯科医療の現状と課題		
	C　在宅療養者の医療・介護に関する制度		
Ⅱ　在宅における医療と介護の連携	A　情報収集の注意点	2	
	B　急性期病院から在宅まで		
	C　在宅療養者の支援の流れ		
	D　在宅療養者への医療提供方法		
	E　在宅療養における医療およびケアの提供		
Ⅲ　在宅療養者の病態把握	A　全身状態の把握（薬剤、検査値の基礎知識）	4	
	B　身体機能および精神状態の変化の把握		
	C　高齢在宅療養者に多く見られる全身疾患 〔悪性新生物、認知症、脳血管障害、神経筋疾患、難病（神経難病）、循環・消化器疾患、呼吸器疾患、内分泌代謝系疾患（糖尿病）〕		
	D　在宅療養者にみられる口腔領域の疾患・症状 （口腔粘膜疾患、口腔乾燥など）		
	E　歯科診療上の問題点と対応		
Ⅳ　口腔機能の評価と管理	A　咬合と咀嚼運動	3	
	B　咀嚼障害と全身への影響		
	C　嚥下障害		
	D　口腔機能低下症の概念		
	E　口腔機能低下症の予防と対応		
Ⅴ　栄養管理	A　食生活アセスメント	3	
	B　摂食嚥下障害と栄養管理		
	C　低栄養とその対応（栄養食品等）		
	D　栄養補給方法の種類		
Ⅵ　リスクマネジメント	A　全身管理（バイタルサイン、モニタリング）	4	○
	B　呼吸器の解剖と生理（気管カニューレの知識）		
	C　徒手的呼吸介助法		○
	D　体位ドレナージ		○
	E　呼吸管理と排痰方法		○
	F　吸引の知識と手技		○
	G　感染対策の知識		

別表１－５

研　修　項　目	内　容	単位	演習
Ⅶ　歯科訪問診療の実際	A　歯科訪問診療の進め方	3	
	B　歯科訪問診療と多職種連携		
	C　救急対応		
	D　在宅療養者と家族介護者の支援		
	E　eラーニング　　項目Ⅰ受講:2単位		
Ⅷ　口腔健康管理の実際	A　口腔健康管理の進め方（訪問前、訪問中、訪問後）	5	
	B　情報収集の方法等		○
	C　アセスメントの要素と方法等		○
	D　口腔ケアプランの必要性と立案方法等		○
	E　疾患によりみられる口腔の特徴		
	F　終末期およびターミナルケアにおける対応（緩和ケアの考え方）		
	G　口腔健康増進支援		
	H　症例から		
	I　eラーニング　　項目Ⅱ受講:2単位		
Ⅸ　介護保険制度	A　介護保険制度の内容（保険給付と地域支援事業、サービス提供している事業者）	1	
	B　介護支援サービスとケアマネジメント		
Ⅹ　専門職種の役割	A　在宅療養を支える職種	1	
	B　各職種の役割（医師、歯科医師、看護師、PT、OT、ST、管理栄養士、薬剤師、介護士、ケアマネジャー）		
	C　多職種と連携するうえでの注意点		
Ⅺ　摂食嚥下機能の評価と対応	A　摂食嚥下機能アセスメント	2	
	B　摂食嚥下機能訓練		○
	C　食事形態の工夫（とろみ剤等）		

※ eラーニングの内容（コンテンツ）は、別紙「eラーニング研修の実施要領」を参照のこと

別表2

関　連　学　会

No.		(法人名)	学会名
Ⅰ			日本歯科衛生学会
Ⅱ			日本歯科医学会総会
Ⅲ 日本歯科医学会 専門分科会	1	(一社)	歯科基礎医学会
	2	(一社)	日本顎関節学会
	3	(公社)	日本矯正歯科学会
	4	(公社)	日本口腔インプラント学会
	5	(一社)	日本口腔衛生学会
	6	(公社)	日本口腔外科学会
	7	(一社)	日本歯科医学教育学会
	8		日本歯科医史学会
	9	(一社)	日本歯科医療管理学会
	10	(特非)	日本歯科放射線学会
	11	(特非)	日本歯科保存学会
	12	(一社)	日本歯科麻酔学会
	13	(一社)	日本歯科薬物療法学会
	14	(一社)	日本歯科理工学会
	15	(特非)	日本歯周病学会
	16	(一社)	日本歯内療法学会
	17	(公社)	日本障害者歯科学会
	18	(公社)	日本小児歯科学会
	19	(一社)	日本スポーツ歯科医学会
	20	(一社)	日本接着歯学会
	21	(公社)	日本補綴歯科学会
	22	(一社)	日本有病者歯科医療学会
	23	(特非)	日本臨床口腔病理学会
	24	(一社)	日本レーザー歯学会
	25	(一社)	日本老年歯科医学会
Ⅳ 日本歯科医学会 認定分科会	1	(一社)	日本外傷歯学会
	2	(公社)	日本顎顔面インプラント学会
	3	(一社)	日本顎顔面補綴学会
	4		日本顎口腔機能学会
	5	(特非)	日本顎咬合学会
	6	(特非)	日本顎変形症学会
	7	(一社)	日本口腔感染症学会
	8	(一社)	日本口腔顔面痛学会
	9	(一社)	日本口腔検査学会
	10	(一社)	日本口腔腫瘍学会
	11	(一社)	日本口腔診断学会
	12	(一社)	日本口腔内科学会

	No.	(法人名)	学会名
Ⅳ 日本歯科医学会 認定分科会	13	(一社)	日本口腔リハビリテーション学会
	14	(一社)	日本歯科心身医学会
	15	(一社)	日本歯科審美学会
	16		日本歯科東洋医学会
	17		日本磁気歯科学会
	18	(一社)	日本小児口腔外科学会
	19	(特非)	日本睡眠歯科学会
	20	(特非)	日本臨床歯周病学会
Ⅴ 歯科衛生士教育	1		日本歯科衛生教育学会
Ⅵ 歯科医学関連学会	1	(一社)	ジャパンオーラルヘルス学会
	2	(特非)	日本がん口腔支持療法学会
	3	(一社)	日本歯科技工学会
	4	(一社)	日本摂食嚥下リハビリテーション学会
	5	(特非)	日本咀嚼学会
	6	(一社)	日本ヘルスケア歯科学会
Ⅶ 看護介護保健福祉	1	(一社)	日本衛生学会
	2	(公社)	日本栄養・食糧学会
	3		日本介護福祉学会
	4	(公社)	日本看護協会 日本看護学会
	5	(一社)	日本ケアマネジメント学会
	6	(一社)	日本健康教育学会
	7	(一社)	日本公衆衛生学会
	8	(公社)	日本産業衛生学会
	9		日本保健医療行動科学会
	10		地域包括ケアシステム学会(各地域別)
Ⅷ 医科系学会	1	(一社)	日本環境感染学会
	2	(特非)	日本緩和医療学会
	3		日本禁煙科学会
	4	(一社)	日本禁煙学会
	5	(特非)	日本高血圧学会
	6	(一社)	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
	7	(一社)	日本在宅医療連合学会
	8	(一社)	日本痛風・核酸代謝学会
	9	(一社)	日本糖尿病学会
	10	(一社)	日本動脈硬化学会
	11	(公社)	日本人間ドック学会
	12	(一社)	日本肥満学会
	13	(一社)	日本臨床栄養代謝学会
	14	(一社)	日本老年医学会

※ 法人名：(公社)は公益社団法人、(一社)は一般社団法人、(特非)は特定非営利活動法人の略

別表３

国 際 学 会 等

No.	学　　会　　名（略 称）
1	International Federation of Dental Hygienists （IFDH） 国際歯科衛生士連盟
2	International Association for Dental Research（IADR） 国際歯科研究学会議
3	American academy of Periodontology（AAP） アメリカ歯周病学会
4	International Association for Disability and Oral Health（IADH） 国際障害者歯科学会
5	Dysphagia Research Society（DRS） 米国嚥下障害学会
6	European Society for Swallowing Disorders(ESSD) ヨーロッパ嚥下障害学会
7	World Congress of Gerontology and Geriatrics（WCGG） 国際老年学会
8	Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology and Geriatrics（AORCGG） アジア・オセアニア国際老年学会議
9	World Dysphagia Summit (WDS) 国際嚥下学会